平成25年6月20日（木）

青年部 KAWAGOE
川越商工会議所　青年部会報誌

鐘の音

http://blogs.yahoo.co.jp/kawagoe_cciyg

No. 31

A report

去る、四月十六日に東部地区担当の第三十一回交流会が、ラ・ボア・ラクテ二階ヴィーナスの間にて開催しました。一〇〇有余名を超えるメンバーに参加頂き盛大に開催されました。鈴木部長の挨拶を頂き、続いて小谷野担当副会頭のご挨拶を頂きました。

PRタイムでは、（医）瑞穂会川越リハビリテーション病院の鈴木　剛さんより瑞穂会グループのPRをしていただきました。

講演会では、東洋大学陸上競技部　長距離部門監督の酒井俊幸氏をお迎えして、「ついていきたいと思われるリーダー（指導者）になる秘訣」と言うテーマのもと、心に響く熱い講演をして頂きました。

箱根駅伝では、平均区間距離二十三kmを1km二分五十五秒を目標に日々の練習を積んでいるそうです。また、昔の選手は、一つでも前の選手を抜きたい、追い越したいとの気持ちで競技をしていたそうですが、最近の選手の気持ちの中では、「一レース一レースを楽しみたい！」と言う気持ちに変わってきたと言う話でした。本番で十の力を出せる事（実力）は、FCバルセロナが行っていた、意識を上げる手法で選手を音響設備の整った会場で、ゴールをした瞬間の映像や、自分達が一番歓喜した優勝場面の映像を大画面で・音を大音量で放映する事で、選手一人ひとりの意識を上げる事でした。目標を達成する為の、意識の相乗効果と言うのは私達の日々の生活でも活用したい所です。

駅伝は、マラソンとは違う団体競技です。まずは、チーム力を上げると言う事で実践しているのは、全寮制にして寝食を共にする事で、意識や気持ちの共有を継続して一日一日を大切にしていると言う事でした。

酒井監督が、選手に日々ミーティングの中で選手たちに「行動と考動」体を動かす前に、まず考え行動をと。

「我流ではなく一流で」自分だけの思い込みや考えだけでは、一流には成れない。他者の考えも取り入れ聞く耳を持て。「勝利は偶然じゃなく必然」勝利するには、戦略的な作戦・実践・そして、気持ちの共有無くして勝利なし。と言う様々なメンタル的なものを意識し、「今、与えられた環境は当たり前ではない！常に感謝の気持ちを持つ事」を前提に活動をしているそうです。選手は、監督の鏡であり、負けた時は自分の責任。勝った時は、選手の手柄。そして、決してしてはイケない事。選手の才能に蓋をしない事、選手の旬を逃さない様に日々の見極めが非常に大切で有るとおっしゃっていました。

今回の講演の中で、経営者としての忘れ掛けていた原点を、改めて会社経営への反映に「キヅキ」として考える事が出来た講演会であったと思います。

最後に、「才能は、不平等」しかし、「チャンス・時間は全ての人々に平等である」「努力出来る事も、一つの才能である」と、様々な視点でマネージメントをする事の素晴らしさや、人との信頼関係を築いてこられた酒井監督の今後のご活躍に、エールを送り感謝いたします。

参加頂いた、メンバーの皆さん本当に有難う御座いました。

東部地区　柿沼幹事

Koedo_marathon

2013 小江戸川越マラソン

青年部の皆様、こんにちは。いつも大変お世話になっております。青年部部長の鈴木でございます。

今回、小江戸川越マラソンについてお話をさせていただきたいと存じます。青年部全体の事業として今年も小江戸川越マラソン2013は、平成二十五年十一月二十四日（日）に開催される運びとなりました。過去三回に渡り開催された中、ご参加いただいたランナーの皆様より年を追うごとに評価が上昇してまいりました。

初回は貴重な酷評を頂きましたが、それに対して真摯に受け止め知恵と創造力を活かしこれまで取り組んできました。これもひとえに皆様の崇高な思いの基、多大なるご支援ご協力の賜物と感謝申し上げる次第でございます。今後、我々が共に愛する川越の街にマラソンという一大イベントを定着させ、更に進化させていくには変化を惜しまず、マラソンと共に自己成長も必要となってくるのではないかと考えております。

また、本大会開催にあたっては、組織の一部変更を行いました。青年部は会場管理部会に西部地区を配し、新設した総務広報部会には東部地区・南部地区・北部地区・情報発信室・企画開発室を配しました。その中で、総務関係を企画開発室、広報関係は情発信室が取りまとめを行います。各地区とも今まで培ってきた経験を最大限発揮して、

New members

はじめまして、この度川越商工会議所青年部に入会させていただきました株式会社　凱旋門　社長の片岡　儀高と申します。

日本三大和牛の米沢牛や佐賀牛等銘柄の黒毛和牛専門の焼肉レストランをふじみ野（イオンの前）と川越（ウニクス南古谷敷地内）の二店舗経営させていただいております。

今回川越商工会青年部に入会させていただいたのは、ウニクス南古谷店出店の際お世話になりました岩堀建設様に声をかけていただきまして、川越の地域の皆様と密着し、必要とされるレストランになれるよう微力ながら取り組んで参りたいと思っております。

まだまだ川越出店から二年しかたっておらず無知な経営者ではありますが今後もご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

はじめまして。南古谷駅の近くで社会保険労務士事務所「篠田おひさま人事オフィス」を開業しております、篠田　恭子と申します。私は小学校一年生の時からずっと川越で暮らしています。小さな頃からお世話になっている地域へ少しでもご恩返しできたらと考え、川越商工会議所青年部に入会させていただきました。

私の事務所は、「従業員満足度を高めて業績向上につなげる」という考え方を軸として

- どうして良い人が辞めてしまうのか
- いい人材はどうやってみわけるのか
- 組織に活気がない
- 女性を活用したい

そんな会社の「ヒト」に関するご相談を随時承っております。生き生きとした職場作りの応援をしていきたいと思っています。

商工会活動では、何かと不慣れでご迷惑をおかけする点も多いと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

Public relations

医療法人　瑞穂会　川越リハビリテーション病院の鈴木と申します。この度は大変貴重な機会を与えていただきありがとうございます。医療法人瑞穂会は昭和五十九年に川越の今福の地に城南中央病院を開設して以来、約三十年にわたりこの地で医療・介護事業に携わってきました。グループ理念として掲げている「生きるしあわせ、すべてのひとに」は、創業者が大切にしてきた患者様や入所者様だけでなく、そこで働く人もその地域に住む人も幸せに暮らせる社会を作りたいという想いが込められています。瑞穂会のグループとして、医療・介護事業を展開する医療法人瑞穂会と人材育成を主とする学校法人医学アカデミーの二つの法人があります。学校法人では理学療法士や薬剤師の学校を運営しています。ただサービスを提供するだけでなく、生き甲斐・目標を持って仕事に取り組む人材を育成することを社会貢献と位置付けて多くの人材を輩出しています。

川越商工会議所青年部に所属しております川越リハビリテーション病院は、回復期リハビリ病棟を百五十一床持つリハビリに強い病院です。スポーツ中の事故からのリハビリなどだけでなく、脳卒中などで倒れた方の社会復帰・自宅復帰の支援に力を入れています。病に倒れた患者様の救急病院とご自宅の間を繋ぐ病院としての機能を強化しています。また外来では健康診断から内科やリウマチ科といった一般的な診療も行っておりますので、お気軽に御来院いただけたら幸いです。

Editor's postscript

五月中旬、取り引きのある新潟県十日町市の生産者と「米がおかれている現在の状況」等の意見交換をしてきました。生産・販売共に厳しい状況であると痛感しました。

その後棚田を見学し畦道に生えている山菜採りをしました。『大収穫で大喜び！』

一週間前まで雪に覆われていた山菜や雑草も雪解けとともに、こんなに大きくなるのかと感心しました。植物の成長力には驚きを隠せません。

この経済状況の中、世間ではアベノミクスと叫ばれていますが、今のところ実感できていません。

私も自然界を見習い、たくましく生きてゆこうと決意しました。

情報発信室　小峰

180社

青年部登録事業社数